

第5回翻訳文化サロンー同時通訳ワークショップが9月29日に開かれました

杏林大学外国語学部教授、宮首弘子先生による通訳者養成の授業では、翻訳とは全く異なったトレーニングが行われていました。

何よりも瞬発力の養成。通訳は当然、発せられた言葉を即座に訳すことが求められますが、この瞬発力は、専門用語、時事用語、あらゆる単語を覚える日々の努力の上に発揮されるものだ、改めて気づかされました。先生曰く「ピアニストのように毎日訓練（覚える作業）をしなければならない」と。授業では、与えられた単語・句などを即座に訳すクイックレスポンス法をはじめとした、効果的なメソッドが用いられ、本番さながらの機材を使用した訓練が行われていました。今回、私たちも短時間ながら各メソッドを体験させて頂きました。

通訳の養成はもちろん、中国語学習という面でも有効な方法を紹介して頂きました。(Y)



2 : 会長挨拶



1 : 講師 宮首弘子先生



5 : 記念写真 ;)



3 : 前半の通訳授業



4 : 後半の通訳実践